

あいのわ訪問看護ステーション

川島宏太

代表



048-776-9498

ainowa-houmonkango.aiwellia.jp

埼玉県上尾市浅間台4丁目12-13
スマイルハウス2階

ビジョン

「予防から看取りまで切れ目のない看護を」というテーマで上尾市に訪問看護ステーションを開設いたしました。「あいのわ」を地域に広げ、縁ある全ての方に信頼される医療を提供して参ります。

あいのわ訪問看護ステーション代表の川島宏太さんは、野球に打ち込んだ学生時代を経て看護師の道へ進み、急性期医療の現場で経験を重ねてきました。患者さんやご家族と向き合う中で、病院の中だけではなく、退院後の暮らしまで支えたいという思いが強まり、上尾市にあいのわ訪問看護ステーションを設立。現在は、上尾市を中心に北本市・桶川市・伊奈町などの地域で、在宅療養を支える訪問看護を展開しています。川島宏太さんが看護師を志した原点、理想の組織づくりに込めた思い、そして地域に根ざした訪問看護の未来について伺いました(2026年5月取材)。

理想の組織づくりを選んだ理由。地域に根ざした訪問看護への思い

高度急性期の最前線に13年間もいた川島代表が、なぜ訪問看護への道を選んだのでしょうか？

私は看護師資格だけでなく、保健師資格も取得しているため、CCUや脳神経領域で重症患者様と向き合う中で、「病気になってから治療するだけではなく、生活習慣の改善や予防にも関わりたい」という思いが、年々強くなっていきました。循環器疾患や脳血管疾患は、生活習慣が大きく関わるケースも少なくなく、病院でどれだけ高度な治療を行って命を救っても、退院後の生活が変わらなければ、再び同じ病気で搬送されてくる現実を何度も目の当たりにしました。

そうした経験を通して、「本当に支援が必要なのは病院の中ではなく、自宅へ帰った後の生活そのものではないか」「病気になってから治療するだけではなく、もっと生活に近い場所で予防的に関わりたい」と考えるようになりました。

そこから3年ほど別のステージでの構想を練り続けていました。その中で、当時は企業の産業保健師として働く道も真剣に検討していましたが、実際に調べると採用枠は非常に少なく、さらに自分の中には「いつか自分で理想の組織を作り、地域や社会へ還元していきたい」という思いも強くありました。そのため、「今進むべき道はそこではない」と感じ、その中でたどり着いたのが訪問看護でした。

訪問看護であれば、これまで急性期で培ってきた高度な医療知識や判断力を活かしながら、病気の予防や再発防止にも深く関わることができ、また、「住み慣れた家で、自分らしく最期まで過ごしたい」という利用者様の願いを支えることもできます。

病院の外へ出て、生活の場そのものに入り込みながら看護を届けることこそが、自分が本当にやりたかった医療だと確信し、進むべき道が明確になりました。



上尾市にあいのわ訪問看護ステーションを設立

「あいのわ訪問看護ステーション」の名前には、どのような思いが込められていますか？

「あいのわ」という名前には、いくつかの意味がこめられており、「あい」は、Loveの「愛」であると同時に、地域の中で支え合い、助け合う「相互扶助」の意味も重ねています。

そして「わ」は、人と人をつなぐ「輪」であり、お互いを尊重しながら調和していく「和」を表しています。

訪問看護は、一人の力だけで成り立つものではありませんので、利用者様やご家族、地域の医療機関、多職種とのつながりがあって初めて支えられる医療だからこそ、「私たちが架け橋となり、この地域に温かい支え合いの輪を広げていきたい」という想いを、この名前に込めました。

また、地域の皆さんに親しみを呼んでいただけるような、温かく覚えやすい名前にしたかったという理由もあり、

「あいのわ」という言葉そのものが、私たちの看護のあり方を表していると思っています。



あいのわ訪問看護ステーションならではの強みや特徴は何でしょうか？

あいのわ訪問看護ステーションの最大の強みは、メンバー全員が高度急性期病院で豊富な経験を積んできた看護師で構成されている点です。人工呼吸器管理や医療依存度の高い方への対応、急変リスクの高い患者様の看護、ターミナルケアまで、幅広いケースに高いレベルで対応できます。私自身、さいたま赤十字病院でCCU（心臓血管系集中治療室）や脳神経領域を長年経験してきたため、循環器疾患や脳血管疾患に対する在宅管理には特に強みがあります。

在宅では「少し呼吸が苦しそう」「いつもより顔色が悪い」といった小さな変化を見逃さない観察力が非常に重要になりますので、私たちはそうした予兆を早い段階で察知し、悪化を未然に防ぐためのアセスメントや生活指導にも力を入れています。

そのため、「医療依存度が高いから在宅は難しいかもしれない」と言われるようなケースでも、あいのわなら安心してお任せいただけますので、確固たる技術と経験を地域の医療・介護の現場へ還元していきたいと考えています。



あいのわ訪問看護ステーションで訪問エリアの目安を教えてください。

現在は、事業所のある上尾市を中心に、桶川市・北本市・伊奈町エリアをメインに訪問していますが、基本的には事務所から車で30分圏内を目安としており、地域に根ざしたフットワークの軽い訪問看護を大切にしています。

上尾市・桶川市・北本市・伊奈町は、高齢化が進む一方で、「自宅で安心して暮らしたい」と考える方も非常に多い地域です。

だからこそ私たちは、「病院から地域へ」という医療の流れを支えながら、利用者様が住み慣れた自宅で安心して療養できる環境づくりに力を入れています…



続きはQRコードからアクセスしてください → → →

